

(公) 高崎経済大学

地域政策学部
地域づくり学科

キャリア教養学科 (尚志高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

辞めた高校の先生が「今からでは勉強が間に合わないだろうから、一旦聖母に入学してそこから四年制大学への編入を目指すのはどうか」と提案してくれました。自分の人生のこれからを考えると、すぐに就職するよりもより学びを深めてから社会に出た方がよいと考えたため編入を志望しました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年の後期からキャリアデザインで編入志望者向けのクラスが始まります。志願理由書の書き方や大学研究の方法、面接練習などを指導して頂けます。また、同じ時期に編入英語の授業が始まるためそちらも履修しました。単語力や読解力などが身に付きました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の早い段階から編入担当の先生に個人的に相談はしていました。志望校の決定や進みたい分野など、様々な先生方に何度も相談に乗って頂きました。小論文に関しては、2年の前期から論点100の記事や新聞記事を題材に自分で書いたものを先生に添削して頂いていました。キャリアデザインでも編入対策の小論文は書きますが、それだけでは足りないので個人的に練習することをおすすめします。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

1年生の頃はTOEIC取得が必須の大学を受けようと考えていたため、定期的に受験し、最終的に840点を取得しました。最終的にはTOEICの提出が課されない高崎経済大学を受験しましたが、自己PRで大きな材料となったため受験しておいて損はないと思います。また、1年時はとにかく多くの本を読み、社会問題などの知識を得るようにしました。キャリアデザインの際に編入生へのおすすめの書籍リストが頂けたので、そこに記載されていた本を中心に読みました。他にも、学内外のプロジェクトに積極的に参加し、他の学生と差別化できるような経験を積みました。

Q.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

一方的な授業だけではなく、プレゼンテーションやディスカッションなど主体性が求められる授業が多いため、発想力やリーダーシップを習得することができました。キャリア教養学科はリベラルアーツを学べる学科なので、様々な分野の授業を履修することで教養を深められたと考えています。

Q.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

キャリアデザインで先生が仰っていた「編入は合否が出るが、結果がどうであれ努力したという事実は絶対に無駄にならない」という言葉が励みになりました。もちろん合格することが最終目標ですが、例え第一志望校が残念な結果に終わってしまったとしても他にいくらでも道があると考え、気負いすぎずに受験することができました。先生方はこちらが精神的に不安定な時など、いつでも快く相談に乗ってくださったので心から感謝しています。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①高校を一旦辞めているので、学校生活に馴染めるかどうか不安で仕方ありませんでした。

②様々な授業や学内外のプロジェクトに参加し、非常に充実していました。友人にも恵まれ、何一つ不満はありませんでした。

③「もし不合格だったら第二志望の大学で頑張ればいい」という気持ちで、絶対に合格しなければいけないというようなプレッシャーはほとんどありませんでした。家族、先生、友人など多くの方が「大丈夫だよ」と励ましてくれたため、それが励みになりました。

④事前提出の論文も面接もあまり手応えはなく、正直合格の可能性は50%ほどだと感じていました。合格発表までは緊張していましたが、不合格だった時のために第二志望の大学の過去問を解いていました。合格した際には、進路が決まって一安心し、今まで支えてくれた方々に感謝しました。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

積極性が重要です。プロジェクトの募集が掛かった際には主体的に参加したり、編入に関しての不安などはすぐに先生方に相談したり、自分から動くことが求められます。編入は一般的な大学受験のように単純なものではなく、入学後の学びのビジョンなども明確にしておく必要があるため精神的に折れそうになることも何度もあるかと思います。私は特に落ち込みやすい性格であるため何度も諦めたいと思いましたが、同じ志を持った仲間たちや先生方が親身になって支えてくれたため合格できたと考えています。受験は個人戦ではありますが、周囲の人を頼ることも非常に重要です。筆記試験対策だけではなく、メンタルケアにも気を遣ってください。